演題番号 4	２０２０年５月時点におけるCOVID-19感染回復患者へのリハビリ介入について
発　表　者	市立三次中央病院　係長・理学療法士　吉川　陽樹
共同発表者	

2020年４月８日に三次市内の施設で県内初のCOVID-19感染のクラスターが起きた。その患者さんの中で，ＡＤＬが低下し退院困難となっている患者に対して当院にリハビリ依頼があり，５月中旬よりCOVID-19患者及び回復患者が入院されている病棟でリハビリ介入を開始した。当時は，情報がまだ少ない中で試行錯誤しながらの介入であったが，約１ヶ月の期間12人の患者のリハビリ介入を行い，自宅等への退院のサポートができた。残念ながら自宅へ帰れず施設への退院となった方もおられたが，その期間の病棟内リハビリや退院に向けての調整などについて報告する。

MEMO